

「ワンデーポート通信」 第253号 2021.9

キャンブルの問題がある人のための
ケアセンター

＜発行＞ 認定 NPO 法人ワンデーポート
〒246-0013 横浜市瀬谷区相沢 4-10-1

クボタハイツ 101

HP <http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/>

TEL: 045-303-2621

E-mail oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp

FAX: 045-303-2629



ワンデーポートの活動の土台を支えていただいている第一産業さん。

今月号は、第一産業の代表取締役の小野寺さんへのインタビューを掲載しました。

関係者へのインタビュー

(有)第一産業 代表取締役
NPO法人ワンダーポート理事
小野寺正夫

2000年のはじめ頃、ワンダーポートの活動をはじめめるための拠点探しをしました。相鉄線沿線の不動産屋をいくつか回りました。瀬谷から3つ横浜駅寄りにある二俣川駅前の不動産屋さんで紹介されたのが、瀬谷駅北口の第一産業さんでした。社長の小野寺さんが福祉活動の理解があるということでの紹介だったのだと思います。小野寺さんとはそのとき以来のお付き合いです。ワンダーポートがNPO法人化した2005年には理事をお願いしました。21年に渡りワンダーポートの物件の仲介やワンダーポートを出た人のアパート仲介だけではなく、ボランティア活動の紹介、ワンダーポートを出た人の見守り支援など、ワンダーポートの活動の土台を支えていただいています。(施設長 中村)

(第一産業さんでインタビューを行いました)

不動産業をはじめるとまで

小野寺：今、受付に来ているお客さんは聴覚障害があって、筆談でやりとりしていたのですが、LINEでやったほうが早いと気付きました。

中村：たしかにLINEのほうが早いですね。今日はそういう小野寺さんの経験に基づくお話もお聞きしたいと思っています。まず小野寺さんがどういうきっかけで不動産業に就かれたのか、簡単にお聞かせ願えますか？

小野寺：子どもの頃は家庭が貧乏でした。中学生くらいのに考えていたことは、ふつうの生活がしたいということでした。お金持ちになりたいと夢見ていました。高校は断念しようと思っておりましたが、中学の担任の先生から高校くらいは行ったほうが良いと言われました。普通科に行って、大学に進むより、商業高校に行って簿記を学んで就職したほうが良いと思いました。そして岩手県立一関第一高等学校の商業科に進みました。とても良い高校だったので幸せだったと思います。お金がなかったので奨学金をもらい勉強しました。それだけでは足りなかったんで、そろばん教室で小学生に教えるアルバイトをして学費に充てました。父親は岩手の炭鉱やパン工場で働いて苦労したので、高校を卒業した私には、国家公務員とか地方公務員とか安定した仕事をしたいほうが良いと言ってくれました。でも、私は与えられた仕事だけをするには物足りなさを感じていました。自分で努力して稼ぎたいと思いました。商売をやりたいと思いました。そして、岩手から川崎に出てきました。

中村：どうして神奈川に出てきたのですか？

小野寺：やはり、こちら（都会）に憧れがありました。母親の実家が瀬谷区ということもありました。親戚もいました。父親は石巻出身で、こちらに出稼ぎに来て母親と知り合い結婚したそうです。

中村：そういう経緯があったのですか。高校を卒業して川崎に出てきてどんな仕事をされたのですか。

小野寺：衣料品の小売り沼屋に住み込みで就職しました。木曜日の定休日には親戚の叔父さんがやっていた野菜の仕入れの仕事を手伝いました。築地の市場です。叔父さんがお店を作ってくれてその仕事をやったりしました。でも物足りなくて、乾物を卸している商事会社に就職しました。1964年の東京五輪の頃で、スーパーマーケットがどんどん出てきている時代でした。働きすぎて、21歳の終わりに肺結核になってしまいました。秦野の

療養所で23歳になるまで15カ月間入院しました。その後に、自分で商売をやるのは何がいかと考えました。いま瀬谷中学校の北にセブンイレブンがありますが、当時は吉川商店という酒屋さんでした。そこで4〜5年くらい働きました。独立してやりたいと思っていましたが、酒屋での独立は難しいということがわかりました。そのとき、大和市の不動産会社でアパート付きで営業マンを募集していました。迷ったのですが、歩合で稼げるということもあり、その不動産会社に入りました。28歳のときです。建て売りの営業でしたが、一生懸命働き、1年でトップの営業成績を収めるようになりました。営業部長もやりました。でも2年で辞めました。

中村：どうして辞めたのですか？

小野寺：お客さんと会社の狭間で、お客さんに対するサービスができないことがつらくなりました。それなら自分で独立して不動産業をやろうと思い、瀬谷で第一産業を立ち上げました。1975年で、私は30歳でした。はじめの1年は友人とやっていましたが、1年後には宅地建物取引士の資格を取りました。自分でやるようになったら、お客さんに対するサービスもできるようになりました。それ以来、ずっと「人にやさしく、奉仕する」ということを貫いてきました。

人にやさしく、奉仕する

中村：小野寺さんの「人にやさしく、奉仕する」という思いはどこから出て来るのでしょうか。

小野寺：小さいころに貧乏して苦労した親の姿を見てきたからだと思います。自分は皆とともに一緒にやっていくということも、幼少期の体験から来ていると思います。独立して46年になります。

中村：ワンデーポートは開設21年ですが、1年5人仲介してもらっていると考えると、100人くらい小野寺さんにお世話になっていることになります。

小野寺：そんなにはいないでしょう。

中村：数えておけば良かったと思います。100人はいってなくても、かなりの人数がお世話になっています（記憶で数えたら、65人を超えていました）。小野寺さんが不動産業をやられていて、ワンデーポートの人以外でギャンブルの問題を持たれた方と出会うことはありますか？

小野寺：ギャンブル依存の人はわかりませんが、家賃を滞納する人はいます。タバコやお酒は見てわかりますが、ギャンブルはわかりませんよね。

中村：家賃を滞納したときはどうされるのですか。

小野寺：滞納したら、大家さんから私のところに電話が来ます。1ヶ月の家賃を払えないのだから、滞納分も払えるわけがありません。5万円の家賃を3ヶ月滞納していたら「大家さん申し訳ないけど、私が毎月6万円集金します。15ヶ月かかるけど、私も頑張ります」と大家さんをお願いします。そういう仕事が多くて、大変です。

中村：そういう仕事はどの不動産屋もやっているのですか？

小野寺：一部やっている業者もありますが、やらないと思います。「アパートを出て行ってください」として、終わりにすると思います。ここ20年くらいは保証会社を入れて解決しているところが多いと思います。

中村：何度も滞納を繰り返す人もいますか？

小野寺：いますよ。お酒とかギャンブルとかで使ってしまった人はいると思いますが、そういう人もいると思っていて、切り捨てないで関わっています。

中村：ワンデーポートを出た人の中にもそういう関わりをしてもらうことで、家賃の支払いが追いついた人がいます。2年くらい前に小野寺さんから家賃が遅れていると私に連絡

もらったAさんは、先日、偶然会いましたが、とても元気でした。向こうから「中村さん」と声を掛けてくれました。家賃の支払いも追いついたのかなと思いました。

小野寺：それは嬉しいですね。

中村：ワンデーポートとの関係が切れても、小野寺さんと繋がっていることで助けられたという人もたくさんいると思います。

不動産業は人生支援

中村：小野寺さんがアパートを仲介した人で、アルコール依存症の人はいますか？

小野寺：タバコやアルコール依存の人はいますね。タバコを吸い過ぎている人には「肺がんになるので気を付けたほうがいいよ」と話しています。マルエツの前で会うたびに缶ビールを飲んでいてSさんは、ついこのあいだ肝臓を悪くして亡くなりました。まだ50歳前後でした。病院で掃除の仕事をしていましたが、仕事が早く終わるからやるのがなくて飲んでしまうようでした。「体に気をつけなさいよ」と言ったのですが、亡くなりました。残されたお母さんが可哀そうでした。

中村：不動産業は、土地や家屋を販売したり、アパートを仲介することが仕事だと思っ

ていましたが、生活支援も大事な仕事なのですね。
小野寺：第一産業も46年やっていると、私もですが、関わっている人も高齢化しています。高齢になって単身で亡くなると、そのご家族も高齢者です。遠方に兄弟姉妹がいても、80歳を超えていて、身体が動くことができなくなって「部屋、荷物も骨もそちらで処分してほしい」と言われることもあります。こういう話をしている間にも単身者で心配な方がたくさんいます。今年の夏は、部屋で亡くなって1ヵ月間気付かなかった人が2人いました。亡くなったら荷物も片付けなくてはいけないし、部屋を綺麗にして次のお客さんを見つけなくてはなりません。

中村：不動産業はほんとうにたいへんな仕事ですね。人生の終わりまで関わるのですね。高齢者や障害者の仕事を目指す人は、第一産業さんと研修すれば良い経験になるように思いました。

小野寺：「衣食住」という言葉があります。「衣」はなんとかなりますが、「食」と「住」は人間にはいちばん大事なことだと思います。住む環境によって心が変化するように思います。

中村：「環境によって心が変化する」という考え方は、ワンデーポートの支援でも実感することです。

挨拶をすること、話を聞くこと

中村：3年くらい前にメゾン〇〇を仲介してもらった人がいました。彼は身分証明書が精神障害者保健福祉手帳しかありませんでした。小野寺さんは理解してくれましたが、大家さんが慌てたそうですね。

小野寺：大家さんから「こういう人は困る」と言われましたね。入居する本人の夢と希望をぶち壊してしまう、それだけが頭の中でぐるぐるめぐり、入居できないと申し訳ない、何とかしたい、その思いだけでした。最終的には、「自分が責任を持つ」と言ったら、納



2004年12月 小野寺さんと中村

得してくれました。

中村：ほんとうにありがたかったです。

小野寺：精神障害とってしまうと断られて、うちに来る人は多いです。

中村：障害や生活課題を持っていても住居があれば、安定する人はいます。一方で、入居してから小野寺さんにいろいろ手を煩わせてしまった人もいます。10年以上前のことですが、ハイツ〇〇〇のBさん覚えていますか？

小野寺：たいへんな人でしたね。

中村：隣の人がうるさいと、壁に穴を開けたりしました。

小野寺：音が気になる人は多いです。

中村：Bさんの部屋に小野寺さんに行ったら、Bさんは排水の音がうるさいと訴えました。そのとき小野寺さんは、水圧を調整したりして、音が出ないようにしました。こんなにも丁寧にきめ細かく関わるのかと思いました。Bさんは、自閉症の診断が出ていて、聴覚過敏があることを私は知っていました。だけど、小野寺さんはそういうことを知らないで、一生懸命にBさんの話を聞いて対処していました。障害理解や障害支援ということはこういうことなのか、障害の知識があることと支援ができることは別なのだと思います。

小野寺：困難に何度もぶち当たって、経験して学んでいるのかもしれないです。

中村：Cさんは10年以上ずっと関わってもらっていますよね。家賃はいつも遅れているし、ゴミ屋敷になってしまうし、ワンダーポートにも来ないし、でも小野寺さんがずっと関わっています。

小野寺：Cさん、憎めないですよ。この前は、部屋に行ったら家賃払ってくれました。

中村：いろいろな障害が支援の対象になって、専門の支援機関はたくさんありますが、土台を支えているのは小野寺さんみたいな人なのだと思います。仕事をする上で大事にしていることはありますか。

小野寺：挨拶をすることと、話を聞くことです。ワンダーポートの人は最近若い人も多いですね。向こうから声をかけてもらうのは嬉しいと思います。朝、施設の前の道を通るとき、掃除している5~6人に「おはよう、ご苦労様」といつも声を掛けています。

中村：ワンダーポートの人からも「今日、小野寺さんに会いました」と言ってくるのがよくあります。人との繋がりはとても大事だと小野寺さんから教えてもらっているような気がします。今日はありがとうございました。ワンダーポートは第一産業依存症なので、これからもお世話になることやご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、よろしくお願いします。



2021年8月

小野寺さんの話について、感想をお寄せいただけないでしょうか

中村 努

ワンデーポートは開設時、ギャンブル依存の自助グループに通うことを相談、支援の柱に据えていました。しかし、利用者の皆様や支援者の皆様との出会いから、自助グループが合わない人が多く、失敗を繰り返しながらも家族や地域に支えられて生きていく人や、時間をかけて成長、自立する人などもいて、予後は多様であることを知りました。現在、私たちは自助グループに行くことを勧めず、その人にあった暮らし、仕事、余暇の安定をはかることを指針にした相談、支援活動に取り組んでいます。

今、国の定めたギャンブル等依存症対策基本法に基づき、地域連携や治療のための拠点づくりが行われています。その対策では、医療での治療、自助グループの参加での回復が柱になっています。「治療すれば良くなる」とされています。ワンデーポートでの経験では、変化できない人に治療や回復を強要すると、状況は逆に悪化してしまうと考えています。国の指針とは隔たりがあります。

繰り返しお伝えしていることですが、ギャンブルに依存する人には精神障害や知的障害、障害と診断できないレベルの弱さを持っている人は一定数います。ギャンブルをはじめの前から生活課題を有している人には、小野寺さんのような地域の支援者が個々の困難や失敗に寄り添うことに尽きると思います。

今回、小野寺さんにインタビューを行ったのは、行政機関や自助グループでは伝えていない個別の生活支援の必要性、有用性を知ってもらうためです。私は、我が国のギャンブル依存対策に必要なことは、「依存症は回復できる病気です」と闇雲な啓発をすることではなく、個別性を示し、困難が続く人もいることを伝え、その人にも救いの手が差し伸べられるような地域連携を促すことだと考えています。

ワンデーポートでは、困難が続く人にも支援の手が差し伸べられるような依存対策が必要なことを支援の末端から発信したいと思っています。小野寺さんの話についてのご感想やご意見がありましたら、ワンデーポートまでお寄せいただけると幸いです。

問題をお持ちの方、ご家族、支援者の皆様など立場は問いません。よろしく願い申し上げます。

感想はこちらへ(匿名でも構いません)

E-mail oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp

fax 045-303-2629

ワンデーポート利用案内

1. 入所カリキュラム

東京パチンコボランティア基金より、ワンデーポートへの新規利用者(入所者)を対象にした給付金助成制度(1人15万円給付)が実施されています。お気軽にお問合せください。

(1)生活づくりステージ (1ヵ月～) 内容規則正しい生活とミーティングやスポーツにより健康な生活を取り戻すことを目的とします。

(2)社会参加ステージ(生活づくりステージ修了後6ヶ月～1年)

昼間は仕事(アルバイト)をします。アルバイトで得た収入はワンデーポートで必要な費用にあてるので、ご家族の負担が軽減されます。資格取得の勉強などもできます。

ワンデーポートの寮では、2DK～3LDKのアパートで2人～3人での共同生活となります。

入所費用について

(1)寮費：55,000円/1ヶ月(共益費8,000円込)

(2)利用費：無料

(3)この他に、食費、イベント交通費などの実費が必要で、これらを合計すると約13万円～14万円/1ヶ月の費用がかかります。

(生活保護を受けている場合は、上記とは利用費が異なり生活保護の金額の範囲内で利用が可能です。)

2. 相談支援(無料)

個別にお話をおうかがいして、必要な助言を行います。

3. 通所支援(無料)

通所により、必要な支援を提供します。

4. 利用手続き、問い合わせ

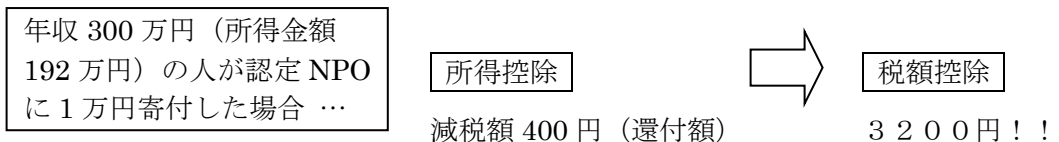
045-303-2621 までお気軽にお問合せください。

寄付のお願い

税制上の優遇について

認定 NPO 法人を取得しているため、個人、法人、相続人がワンデーポートへの寄付をした場合、税制上の優遇が受けられます。所得税、住民税の確定申告の際、ワンデーポートが発行領収書を添付して寄付控除を適用すれば、納税額がある場合には、その納税額を減らすことが可能となります。個人からの寄付の場合、以前は寄付金に応じて所得控除となりましたが、2011年6月に成立した税制改正法案により、認定NPO法人への寄付で「税額控除」が可能になりました。

個人からの寄付の場合の所得税における【所得控除】と【税額控除】の比較例



法人からの寄付の場合

認定 NPO 法人へのご寄付は、一般の損金算入限度額とは別枠で損金算入ができます。確定申告でワンデーポートが発行する領収証を添付し、事業年度に支出した寄付金のリストを提出すると、損金算入分は法人税、地方税が課税されません。

損金算入額 = 一般寄付に係わる損金算入限度額 +

認定 NPO に対する寄付金に係わる損金算入限度額

*2011年11月に成立した税制改正法案により、認定 NPO 法人向け特別枠が拡充されました。

領収証の発行については、毎年1月末までに前年分の寄付金一覧と領収証を発行いたします。法人については、決算月の関係で、領収書送付時期の変更をご希望の場合はワンデーポートまでご連絡ください。

寄付の振込先

郵便振替口座 00280-0-46026 特定非営利活動法人ワンデーポート
三井住友銀行大和支店 普通口座 1247769 特定非営利活動法人ワンデーポート
銀行にお振込みの方は、電話か FAX かメールで、ご住所をお伝えください。

寄付をいただいた方にはワンデーポート通信をお送りしています。住所変更がございましたらお知らせください。なお、送付停止をご希望の方はご一報くだされば幸いです。

2021年7月利用者報告

① 利用者数

	男性	女性	合計
継続	39	2	41
新規	1	0	1
合計	40	2	42

② 入所者の年齢

10代	20代	30代	40代
0	5	2	2
50代	60代	70代	合計
0	0	0	9

内

入寮者 9名

家族個別相談のご案内（無料）

毎週金曜日

1回の相談日につき3件受付（10:30～、13:30～、15:30～）

第1金曜日 稲村厚(司法書士) 第2～第5金曜日高澤和彦(精神保健福祉士)

（変更があります）

予約は1ヶ月前の午前10時から受付いたします。

コロナ感染拡大を考慮してオンライン相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ TEL 045-303-2621 ワンデーポート

依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会

9月の開催はありません

10月の開催についてはHPでご確認ください

<http://problemgambling.namaste.jp/index.html>